

①大阪芸術大学短期大学部のあゆみ

②デザイン美術学科の指導者たち

③藤森照信+学生茶室プロジェクト

# Grab Your Future

未来をつかめ

Future

Today

Past

宝塚から一番近い

アーティストが生まれる場所

大阪芸術大学短期大学部の現在  
Osaka University of Arts Junior College

2022.7.30sat

8.30tue

会場=宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー 開館時間=10:00-18:00(入館は17:30まで)

開幕日(7/30)のみ12:00から 休館日=毎週水曜日 観覧料=一般 800円 ※中学生以下無料 主催=宝塚市立文化芸術センター(指定管理者:宝塚みらい創造ファクトリー) 協力=学校法人塚本学院 大阪芸術大学短期大学部 後援=神戸新聞社

宝塚から一番近いアーティストが生まれる場所、大阪芸術大学短期大学部伊丹学舎の歴史は、初代理事長の塚本英世氏(1917~82年)が日本の敗戦後まもなく、これからは英語が必要な時代であることを掲げ、英語塾を設立したことから始まります。開校してみると青年達に多大な刺激を与え、大盛況となりました。1951年に浪速外国語短期大学が開学し、高度経済成長期に入つてすぐの1960年には、工業都市でのデザインの必要性を重要視し、デザイン美術科(当時)を新たに設置するなど、常に時代を見据えた開校と増設により、未来にむけて必要とされる教育が実践され続けています。現在までさまざまな方向性を持つ教員たちが在籍し、それぞれの尺度や価値観による教育により、学生たちに自分自身で発想する力や自由な精神が育成されています。本展では、短期大学部のあゆみ、デザイン美術学科の現役教員であるアーティストの作品、そして2022年2月に完成した藤森照信氏と学生との共同制作茶室プロジェクトを紹介します。

未来をつかめ



# Grasp your Future

## 1 Past

### 第一章

#### 大阪芸術大学短期大学部のあゆみ

1945年、平野英学塾の創設に始まり、1960年、浪速短期大学にデザイン美術科が設置され、1986年、デザイン美術科は伊丹市に移転しました。今日までの「美術デザイン教育」への足跡を辿ります。

### 第二章

#### デザイン美術学科の指導者たち

[出品教員リスト(予定)] 五十音順・敬称略

池上陽二、石橋志郎、オオゴントモエ、大船光洋、大山幸子、小川アリカ、柏原 剛、叶 雅夫、川島慶樹、木村幸司、桐月沙樹、黒河兼吉、小藪昭治、桜 水樹、左合ひとみ、佐藤圭太、佐藤浩二、柴田明美、澁谷克彦、高橋 睦、竹広信吾、立本倫子、谷尻 誠、凸ノ高秀、内藤あんも、中川佳宣、中西 學、ねもと章子、福田利之、藤田茂敏、北城貴子、堀野利久、松井桂三、松澤 剛、松田一聡、森岡知香、安井寿磨子、劉 相孝

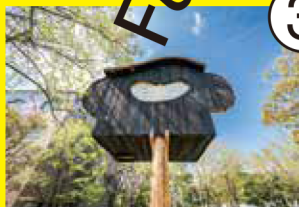
## 2 Today

1	2
4	5
6	8

### 第三章

#### 藤森照信+学生 茶室プロジェクト

約1年間の制作期間をかけて完成した「空飛ぶ茶室」は、地上からの高さは、5.7メートル、千利休由来の3畳茶室にこだわり、柱の上に竹丸みを帯びた茶室モニュメント。デザイン美術学科の学生らが、焼杉造りや、内部の装飾デザインにも藤森氏とともに携わりました。



「空飛ぶ茶室」(2022)

## 3 Future



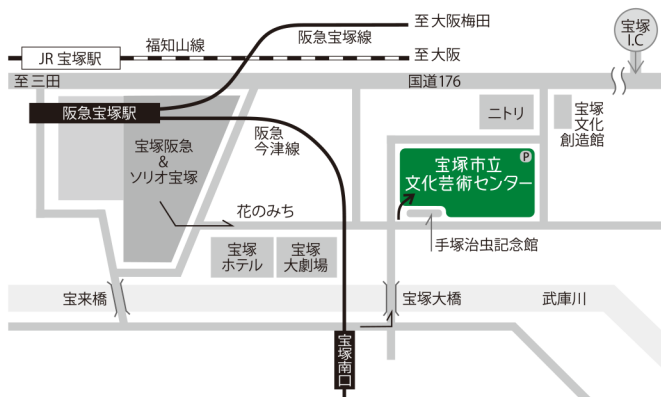
1. 福田利之(グラフィックペーパーの子コロガTシャツ) 2. 佐藤圭太(永遠なる一瞬) 3. 森岡知香(Bowl(シトラスミックス)) 4. 松田一聡(無題) 5. 堀野利久(直) 6. 川島慶樹(Twiggy project) 7. 安井寿磨子(夏の娘) 8. 竹広信吾(紙の展覧会 展示ポスター) CD, AD, D / 竹広信吾 Client / 平和紙業株式会社

宝塚から一番近い

アーティストが生まれる場所 | 大阪芸術大学短期大学部の現在

2022.7.30sat — 8.30tue

会場=宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー 開館時間=10:00-18:00(入館は17:30まで)  
休館日=毎週水曜日 観覧料=一般 800円 ※中学生以下無料 ※開幕日(7/30)のみ12:00から



宝塚市立文化芸術センター

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7-64 TEL 0797-62-6800  
FAX 0797-62-6880 <https://takarazuka-arts-center.jp/>

